令和５年１１月１日に思う

「運動会にはやはり太陽がよく似合います」。コロナウイルスの影響で４年ぶりにフルで開催された村民大運動会は、みんなの願いが叶い素晴らしいお天気に恵まれました。老若男女が心地よい時間を過ごすことができたと思います。とりわけ多くの村民の皆さんの応援と拍手をうけて子どもたちは一段と輝いていたように思います。一堂に会すること、一緒に力を合わせることの大切さと楽しさを感じたことでしょう。過日、福井県において全国国保地域医療学会が開催され、出席しました。その会で池端福井県医師会会長が、健康と「食事、運動、つながり（コミュニケーション）」の大切さを力説されていました。まさに運動会は「最適！絶好の機会」と確信しました。あらためて体育協会役員やシニアクラブの皆さんなど大会関係者に感謝を申し上げます。町村ではすでに秋の体育祭が廃止になっているところもある中、わが村では平成25年に保・少・中の合同運動会が開催され、平成28年には関係者の努力でさまざまな課題を乗り越え今の素晴らしい大運動会が定着しました。私が本紙１月号で「協働」を展開したいとメッセージしました。みんなで力を合わせて働くことだけの狭い意味でなく、ボランティア活動や汗をながすこと、ものづくり等々も、「みんなで一緒に力を合わせよう」の強い思いでありました。来春には、いよいよ源流学園と保育園・こどもセンターあま☆ごんが開校（園）します。みんなで一緒に力を合わせて、子どもたちにあたたかいエールを贈っていただきたいと思います。